

研究

大目標：先端研究を通じて、世界の人々の健康と活力に満ちた社会の実現に貢献する。

※テーマをクリックいただきますと詳細をご確認いただけます。

テーマ	SDGs該当目標	2024年度実績
小児・AYA世代がん患者さまの妊孕性温存に関わる活動ー希望をもってがんとたたかうことができるために	3 すべての人に健康と福祉を 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 17 パートナリシップで目標を達成しよう	■神奈川県における、がん・生殖医療ネットワーク体制の維持：本年度も、これまでと同様に、聖マリアンナ医科大学産婦人科学講座から、神奈川県における「かなおふネット：神奈川県がん・生殖医療ネットワーク（事務局は神奈川県庁がん・疾病対策課）へ参画し、国の公的助成金制度の県内における強力なサポートを進めることができた。 ■神奈川県のみならず、小児・AYA世代がん患者さんの精神的・肉体的健康を増進させる診療体制の全国展開：AYA支援チームとも連携し、AYA世代がん患者に対するがんサバイバーシップ向上に資する活動を行うことができた。具体的には、東京都立小児病院、国立成育医療研究センター、神奈川県立こども医療センターとの密な連携を行なった。 ■その他：本年度も、がん・生殖医療の課題解決に向けたアクションを、本領域に関係のある学術団体の学術集会で発信し、厚生労働省の科研費研究班における活動として国への提言を行った。さらに、国と自治体による妊孕性温存に関する経済的支援の際の参考となる、日本癌治療学会作成の妊孕性温存の診療に関するガイドライン改訂版の改訂作業に参画した。
未病を科学する：アンチエイジング・健康寿命の延伸に向けて、未病対策に最新医学で取り組む	3 すべての人に健康と福祉を 17 パートナリシップで目標を達成しよう	■本年度は、これまでに基礎・臨床研究で進めてきた未病改善のための2つの取り組みを進化させた。 ○ひとつは未病の程度や総合的な健康状態の客観的指標・バイオマーカーとしての価値のある物質の同定と、その有効性の評価を進め、有意義な成果が得られた。 ○さらに、東海大学、国立研究開発法人・水産教育研究機構、神奈川県との共同研究として、アスリートを対象とした未病改善食の効果を検証する臨床研究を進めた（共同研究成果は現在解析中である）。